（1）　昭和42年2月24日国鉄東局特別扱承認新聞紙第490号
昭和40年3月8日第三種郵便物認可（毎月5日、15日、25日発行）　1968年7月25日　第140号

☆反帝闘争を
プロレタリア日本革命へ！
☆プロレタリア世界革命の旗の下
共産主義者同盟に結集せよ！
共産主義者同盟

7月25日
第140号
編集発行人　佐々木和雄
一部　20円
購読料　20回　40回
1部400円　800円
2部700円1400円
3部以上300円600円
（1部に付）

# 戦旗

戦旗社
東京都千代田区神田猿楽町2－8
電話代表（03）292－0849
振替（東京）26110
大阪支局　大阪市福島区鷺洲本通り1－16北村ビル内　電（90）458－6597
京都支局　京都市左京区下鴨宮崎町12　8－29電（075）701－0025
名古屋支局（052）732－3553

7月26日／三木訪豪阻止中央決起集会
（午後8時、日比谷公会堂。キューバ革命十周年記念集会／午後6時、同所）
7月27日／三木訪豪阻止実力闘争
午後1時、清水谷公園→新橋→蒲田東口公園→萩中公園→羽田
8月3日／国際反戦集会

# 全国の全戦闘力を三木訪豪阻止へ！

## 侵略反革命のASPAC（アジア太平洋閣僚会議）粉砕！
### 八月国際集会獲得　七〇年安保への道を切開け

7・27ASPAC粉砕＝三木訪豪阻止闘争と8・3国際反戦集会という、すぐれて戦略・戦術的展望に裏うちされたわれわれの政治路線の提起は、党派闘争の全面化を導き出した。

第一に、それは、中核派の全学連大会からの逃亡と、ASPAC→国際反戦集会の放棄として、第二に、かかる事態の進行に対して、われわれとともに全学連の革命的再編をもって対処しようとしてきた部分の、闘争直前に至っての小ブル的反撥の全面的露呈としての、全学連大会破壊策動として。

従って、ASPAC闘争と国際反戦集会の革命的貫徹にとって、かかる事態の推展の意義を明らかにすることこそ、前提的条件である。われわれは、それを明らかにした上で、ひき起こされた党派闘争の革命的推進の現在的な実践的帰結としての意味をもつに至ったASPAC闘争－8・3国際反戦集会の闘争宣言を高らかに発し、全国の先進的労働者・学生にこの闘いへの結集を呼びかける。

### 10・8以降と革命的左翼の位置

……

### 党派的囲い込みへ反動化する中核派

……

### 中核派の逃亡の組織運動的根拠

……

### 革命的統一戦線の形成の条件

……

### 党派的囲い込みか革命的統一戦線か

……

## 第十九回全学連大会
# 学生運動の革命的再編へ
## 藤本敏夫君を新委員長に選出

……

藤本全学連委員長

## 大会宣言

〈本日の大会の勝利宣言〉全学連第十九回大会は圧倒的に成功した！七〇年安保の闘いの方針は確定された。全学連は、砂川・羽田・佐世保・成田・王子・ASPAC・沖縄闘争等の闘いの中で、全日本のプロレタリアート人民の先頭になって闘いぬいてきた。そしてこれらの闘いを通して、ベトナム人民の民族解放・社会主義の闘いと強固に結合してきた。

これらの闘いの高まりと国際階級闘争への発展は、全学連内部の日和見主義と経済主義とを克服しなければならなくさせてきた。今や中核派は逃亡し、社青同解放派・ML派は逃散した。

全学連は日米安保・NATO粉砕をめざして闘いぬくであろう。侵略反革命会議＝ASPAC阻止羽田闘争の7・27を闘い8・3国際集会をかちとるであろう。10・21国際反戦闘争には全国各地のストライキと実力闘争によって展開するであろう。

本十九回大会は脱落者をはねのけて開催された。さらにいっそう強固な戦列をうち固めるために、本年秋には二十回大会を開催しようではないか。

全学連十九回大会

## 7・17早大
# 千五百余名が結集
## 都学連第十六回大会

七〇年安保をまさに眼前に控え昨秋の羽田闘争以降の激闘の九ヵ月間をくぐり抜けてきた全都、全国の先進的学生約千五百名の結集のもとに、東京都学連第十六回定期大会は、七月十八日、午前十一時すぎから早稲田大学において開……

## 大阪府学連結成
### 七月十三・十四両日大会を開催

【大阪支局】今春、結成された一三・四の両日、桃山学院大、大阪大阪府学連結成準備会は、七月十一経済大学において、延べ八百名の……

大会は、十三日、午前十時より、桃山学院大学において開始された。

全学連河元中執、京都府学連書記局員、関西地区反戦連絡会議、浜田事務局長等の来賓挨拶の後、6・28闘争で不当逮捕された西浦結成準備会委員長に代わって、中林委員長代行より基調報告がなされ、討論半ばで、初日の日程を終えた。二日目は、会場を大阪経大に移して、討論が続行され、7・27三木訪豪阻止ASPAC闘争、8・5国際反戦大阪集会、7・19・20全学連大会への結集等の諸決議が満場一致で採択され、次の人事を選出して大会の全日程を終えた。

大阪府学連委員長　西浦君（大阪市大）
副委員長　伊藤君（桃山学院大）
書記長　藤岡君（大阪経大）

都学連大会で選出された15名の執行委員の互選により以下の役員が決定した。
委員長　森田英雄（早大）
副委員長　米田隆介（明大）
書記長　前田祐一（中大）

五月六日パリ・ラテン区の闘い

## 八月国際集会の準備進む
### 欧米、中南米オルグ帰国！
# 諸外国七団体、参加確約

……

国際集会スケジュール
☆七月二五日午後六時　千代田公会堂（入場カンパ百円）主催日本キューバ文化交流研究所「キューバ革命十周年記念前夜祭」
☆七月二六日午後六時　日比谷公会堂（入場カンパ百円）主催八月国際反戦会議日本実行委員会「キューバ革命十周年記念講演会」（OLAS・SNCC代表講演）（集会後デモ）
☆七月二七日午前十時　明治大学学生会館　各国代表あいさつ闘争報告・交流
☆七月二八日午前十時　明治大学学館「八月国際反戦会議・予備会議」世界革命における国際反戦闘争の位置
☆七月三十日午前十時　明治大学学館「八月国際反戦会議・予備会議」国際的組織の建設について（国際反戦インター、国際学連について）決議・宣言採択
☆八月一、二日午前十時　明治大

二面へ続く

# 全学連第十九回大会の成果をふまえ 七〇年を闘う学生戦線の構築へ

## 破産隠ぺい、全学連逃亡＝中核派 失敗したML派、一部社青同 解放派の大会逃散

共産主義者同盟学生組織委員会

共産主義者同盟学生組織委員会は、去る七月二十日、全学連第十……

### 第19回大会の任務

### 唯一、応えた同盟

### チンピラ解放派

### 「転落」したML派

### 全学連を反帝全学連へ発展せしめよ

### 指導的地位を引き受けた同盟の責務

# 全電通第21回大会にあたって

## 奴隷協定＝全電通の全面的後退に抗し 職場闘争の復活と七〇年への隊列を

### 奴隷協定、新了解事項、組織案粉砕

今大会に課せられた革命的電通労働者の任務は、70年安保—佐藤訪米—10・21と迫る70年闘争、日本帝国主義のアジア侵略を阻止すべく全電通二十数万の労働者を決起させるために、厳密なる闘いの総括と、かかる展望のもとでの政治闘争、経済闘争、組織闘争の方針を貫徹させることである。

いうまでもなく、八幡・富士合併を初めとする戦後最大の重工業資本の集中・合併運動の一環としての、社会資本—電通第4次合理化をめぐる労資の攻防は、電通民同のJC—労働力販売株式会社路線として、公社への屈服を歩んできた。一昨年の奴隷協定、今年度の再度の〈夏季差別手当の闘いを放棄する了解事項〉、組織強化案は我々が今大会において最も粉砕する対象である。

……

### 第四次合理化、強化された職制支配

電通労働運動は、かかる中で民同路線の破産と、その反動的再編に対抗する電通労研にひきいられた左派の闘いの飛躍的拡大へと、真二つに分解しながら新しい局面を迎えようとしている。昭和47年末までの5年間に五兆〇四五〇億円（これは過去15年の第一次～第三次合理化の総計をはるかに上廻る……

……

### 職場抵抗の横断結合を地区反戦委へ

6・25協定に反対の立場を表明し、全国にその影響力を持つ協会派が、その後、職場闘争における後退につぐ後退を余儀なくされているのは、労働組合の強化一般として、職場闘争を組合主義的に結実させるという限界性によるものである。

……

# 社学同全国学生政治集会

## 四ッ谷公会堂を埋め尽す一千名の学生

……

## 六〇名が決起

### 麻布米軍ヘリポート撤去闘争

……

## 伊丹闘争の口火切る

### 関西地区反戦・大阪府高連

……

# 成田現地報告

## 立入調査を実力阻止

### 反対同盟 全学連 四百名のバリケード闘争

……

# 読者からの手紙

## 最底、週刊化を

読者・S・K

……

## 歴史的位置づけを

東京・高校生

……

## 第五インターを

読者・A・O

……

## 府高連に入りたい

大阪・高校生

……

## 編集局より

……

☆外国代表の参加連絡

OLAS／参加者未定

SNCC／参加者未定

NBAWADU＝黒人反戦反徴兵委員会／ジョン・ウィルソン、ジェーム・フォーマン

SWP（アメリカ社会主義労働者党）／委員長ハルステット

SDS（アメリカ）／マイク・スピーゲル

SDS（西独）／副委員長ヴォルフ

フランス全学連、イタリア社学同／参加者未定

おことわり　紙面の都合上「七〇年安保と諸党派」は休みます。次号は「七〇年と中核派」です。


共産主義者同盟理論機関誌

**共産主義** 第十一号

第七回大会政治報告集

一部 二〇〇円（〒四〇円）

社会主義学生同盟全国委員会理論誌

**理論戦線** 第六号（復刊一号）

★プロレタリア国際主義の革命的第三潮流を★ドイツ革命の教訓とコミンテルンの総括★中国共産党（毛・林派）批判★マル学同革マル批判★社青同解放派批判★同盟の政治理論の総括

一部 三〇〇円（〒五〇円）

取扱い　戦旗社